

会 議 録

件 名	第 2 回宇治市特別職報酬等審議会
日 時	平成 30 年 10 月 17 日（水） 10：00～11：50
場 所	本庁舎 8 階大会議室
出席者	各委員・事務局職員

【概要】

- 1 今後の審議予定について
- 2 第 1 回審議会の会議録について
- 3 審議等
 - (1) 市の財政状況について
 - (2) 宇治市公共施設等総合管理計画について
 - (3) 市民満足度に関する調査等について
 - (4) 京都府人事委員会勧告について
- 4 その他事務連絡等

【内容】

- 1 今後の審議予定について
審議予定について確認した。
- 2 第 1 回審議会の会議録について
第 1 回審議会の会議録について事務局が説明を行い、委員の承認を得た。
- 3 審議等
以下について事務局より説明を行った。
 - (1) 市の財政状況について
宇治市普通会計決算概要（平成 29 年度）及び宇治市財政健全化推進プラン
 - (2) 宇治市公共施設等総合管理計画について
 - (3) 市民満足度に関する調査等について
宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる事業評価報告書（案）（平成 29 年度事業）
 - (4) 京都府人事委員会勧告について
平成 30 年京都府人事委員会の「職員の給与等に関する報告・勧告」の概要

（委員）財政構造が硬直しているなか、義務的経費であっても例えば扶助費も削減していく必要があるのではないか。

（事務局）聖域なく扶助費も含めて削減を検討していくべきと考えている。一方、国の制度改革があると法的に削減が困難となることもあり、また近隣市町村との均衡も考慮すべきである。ただ、財政健全化推進プランにより人件費をはじめすでに見直しに着手しており、今後も内部改革を行っていきたい。

（委員）いま城陽市が積極的な投資を行い人気が出ており、宇治市の状況をもどかしく思っている。

（事務局）城陽市は新名神高速道路等により魅力が高まっている。一方、宇治市は、保育所の定数増、認知症対策、JR 奈良線の複線化事業や新田駅・木幡駅のバリアフリー化等、生活環境に密着した地道な投資が多い。現在、定住人口の増加にもつながる雇用の確保や税収の増加に向けて、産業戦略を策定中である。

（委員）地道な取り組みは宇治市の特色である。まち・ひと・しごと創生総合戦略の関連で、観光客の増加と市民の満足度は直結しにくいという意見がある。

（裏面に続く）

- (事務局) 観光客の増加は、交通渋滞等住民に負担がかかるという面もある。一方、観光消費の増加、民泊やゲストハウスの増加につながっている。魅力度全国ランキング 37 位 (平成 29 年度) のブランド力があるので、同条件であれば居住先として宇治市を選択してもらえる部分もあるのではないかと。
- (委員) 財政健全化推進プランにより生まれた財源で、大きな産業を誘致するというよりも、観光に投資をしてたくさんの方が集まる魅力的なまちづくりにチャレンジできるとよいのではないかと。
- (事務局) 宇治市の産業において、観光は特徴的で重要な部分ではあるが、税収や雇用の面からは製造業が中心的な役割を担っている。策定中の産業戦略では、市内企業の活性化、新しい企業の誘致、農業の 6 次産業化等を検討している。財政健全化推進プランによる支出の圧縮とともに将来に向けた投資にも取り組んでいきたい。
- (委員) 行政の財政運営が民間と異なる点を教えてほしい。また、特別職報酬等についての審議において他市と比較して評価されるような宇治市の取り組みを教えてほしい。
- (事務局) 1 点目の行政経営については、インフラ整備や住民サービスを行い市民満足度が上がるような行政経営ができたとしても、民間経営と異なり収益が上がることはない。業績が好調な企業が多ければ法人市民税が増加する。収益の根幹となる税収は所得や税率等により決まってくる。2 点目の宇治市の取り組みについては、保育所の定数増、認知症対策、小中学校のトイレ改修等が挙げられる。他には、JR 奈良線の複線化事業、駅のバリアフリー化、黄檗公園の防災公園化、源氏物語ミュージアムのリニューアル、お茶と宇治のまち歴史公園の整備、公共施設等総合管理計画の個別計画の策定、道路・橋梁等の長寿命化計画の策定、宇治浄水場の耐震化等がある。目立たないかもしれないが、生活環境への投資は行っている。宇治市は実質公債比率が低く、起債してインフラへの投資をすることができる状況にもある。
- (委員) 資料 3-3 の P63 の市内総生産の内訳を教えてください。また、働き方改革を見据えながら人件費を削減しているのか教えてください。
- (事務局) 1 点目の市内総生産の内訳については、改めてお示ししたい。2 点目の人件費削減については、ラスパイレス指数を下げる取り組みを行っている。ラスパイレス指数は、大卒・短大卒・高卒の区分ごとに経験年数に応じて算出する指数であるが、宇治市は高卒区分の数値が国を大きく上回っている。宇治市では、高卒であっても部長級まで昇格する職員がおり、また給料表のあゆみも高卒・大卒ともに差がない。国とは異なるそのような動きがラスパイレス指数を押し上げる大きな要因となっており、全国の市区町村で政令指定都市・中核市を除いて 1 位になっている。そのような状況のなか、市長のリーダーシップにより今年度から 2 年間で昇給抑制を行い、ラスパイレス指数を下げる取り組みを行っている。また、働き方改革の観点からは、近隣自治体と比較して宇治市は 1 人あたりの時間外勤務が少ない方であり、育休取得率は女性が 100% であり男性も取得率が上昇している。正規職員についてさらに給与の適正化の取り組みを行っていきたい。
- (委員) ラスパイレス指数が高いと生産性が低いとみなされやすい。宇治市の財政は観光だけでは救えず、企業誘致が重要であるが、優遇措置がない宇治市に立地せず他市に流出した企業を知っている。
- (事務局) 宇治市には、新規に立地を予定した企業への助成制度がある。また、市内企業への年間 100 社訪問、100 社支援も行っており、そのような経験のうえに産業戦略を策定中である。伺ったご意見は担当部局に伝えたい。
- (委員) 今後必要なインフラ整備費用の総額は資料のどこかに書かれているか。
- (事務局) 資料 3-1 の P27 を見ると、平成 29 年度には投資的経費が約 57 億円となっているが、年によって変動している。資料 3-1 の P37 には平成 30 年度以降の投資的経費の見通しが書かれている。
- (委員) 今後借金をしてでも投資は行っていくのか。
- (事務局) 必要な投資にはそれも考えていく。資料 3-1 の P37 の市債が借金に相当する。国庫財源が入る場合もある。
- (委員) 投資的経費が投入される主要な事業は何か。
- (事務局) お茶と宇治のまち歴史公園、学校施設関係、駅のバリアフリー化、JR 奈良線の複線化事業等が挙げられる。歴史公園には国庫財源が 45% 入る。
- (委員) 水道事業はどうか。
- (事務局) 平成 28 年に水道料金改定を行い、宇治浄水場や基幹管路等の老朽化対策や耐震化を

行っているところである。毎年料金収入が1%ずつ減少していくなか経営が難しい。

(会長) 議論の特別職報酬等への結び付け方について、各委員のご意見を伺いたい。

(委員) 人事院勧告を踏まえると報酬等を引き上げることになるが、宇治市の財政状況を見ると据え置きという選択肢もあるのではないかと。将来に光が見えるステップを示してもらえばよいが。

(委員) 財政の数字だけをみると、報酬等を引き上げるとは言いにくい。市長等の給料減額について再度確認したい。また、市議会議員の状況も教えてほしい。

(事務局) 市長は10%、副市長は8%、教育長は7%の給料減額を行っている。一般職の部長級が5%、副部長・課長級が4%、副課長級が3%の給料減額を行っており、それを上回る減額率とし役職で傾斜をかけている状況である。市長でいえば、1,075,000円の給料が10%減額で967,500円となり、年間約130万円の減額となっている。市政運営の状況や類似団体・府内各市における位置づけといった観点から、適正な報酬等について議論いただきたい。

(事務局) 市議会議員は報酬減額がないが、平成28年度、平成29年度ともに期末手当の支給月数は引き上げないという判断をされた。現在本審議会でもいただいた意見よりも0.15月少ない3.15月となっており、年間で計算すると議長で約12万3千円、一般の議員で約10万4千円減額されている状況である。

(委員) 議員定数は28で適正であるのか。議員報酬は総額でいえば大きな額となる。

(事務局) 議員定数は元々32であったが、現在28となっている。

(委員) 他市町村との横並びでない行政の判断はあるのか。

(事務局) 一般職については国、他市町村、民間とのバランスをみている人事院勧告を準用して判断するというのが通常である。市長は特別職であり一般職とは異なる判断もあり得る。19万市民の舵取りをするという立場で評価すべきであり、財政の指標のみを判断の材料とすることは難しいところである。

(委員) 昨年度特別職等の期末手当を引き上げるといった意見具申を行った。その後議会が、議員報酬については審議会の意見具申を尊重するものの、据え置きの判断をされたのは、どのような事情であったか。

(事務局) 議会は、財政が厳しいなか市民の代表として考慮し据え置きの判断をされたのではないかと。

(委員) 人事院勧告がどのようなものであっても、宇治市固有の判断があってもよいのではないかと。

4 その他事務連絡等

次回の日程について確認する。

(審議終了)